

# 『日本臨床救急医学会雑誌』 投稿規定

2008年6月 一部改訂

2010年6月 一部改訂

日本臨床救急医学会雑誌（略名：日臨救医誌）は日本臨床救急医学会の機関誌であり、臨床救急医学の進歩と発展に寄与することを目的とするものである。本誌の英文名は“Journal of Japanese Society for Emergency Medicine”（略名：J Jpn Soc Emer Med；JJSEM）とする。

**☆投稿内容** 投稿論文は臨床救急医療の進歩に寄与する創意に富んだもので、二重投稿および同時投稿でない旨を明記した書面（書式A）に著者全員が署名、捺印して添付すること。すなわち本誌への投稿論文は、原則として他誌に掲載されていないものに限り、また同時に他誌に投稿することはできない。ただし、同時掲載や、外国語で他誌に掲載されたものを日本語に変えて本誌に余剰出版（重複出版）することが公衆衛生に利すると考えられる場合はこの限りではないので、投稿時にその旨を必ず伝えるとともに、掲載論文のコピーまたは別冊を添付すること。掲載の是非は編集委員会で判断するが、掲載する場合、掲載誌を明記した上で論文の種別は「資料」とする。

原則として日本語での投稿を受け付けるが、英文での投稿を希望する場合は和文抄録を付すこと。

投稿論文には所属の指導者、もしくは学会評議員の推薦書を添えることが望ましい。

**☆投稿資格** 筆頭著者は本学会の会員に限る。著者の人数は10名以内とする。入会手続きは学会事務所まで問い合わせのこと。

連絡先：〒164-0001 東京都中野区中野 2-2-3  
へるす出版事業部内  
日本臨床救急医学会事務所  
TEL 03-3380-2704 FAX 03-3380-8627

**☆論文の受付** 論文の様式1)～5)、原稿の書き方1)～13)を大幅に逸脱するものは受け付けない。

**☆論文の採否** 投稿論文の採否は編集委員を含む3名で査読後、編集委員会の審査によって決定し、その日をもって受理年月日とする。

**☆論文の様式**

- 1) 投稿論文は原著、総説、臨床経験、症例・事例報告、研究速報、調査・報告、Letter to editor、資料とし、その種目別を明記する。
- 2) 原著、総説、臨床経験、症例・事例報告、調査・報告の様式は、1頁目に和文の題名・著者名・所属施設名、英文の題名・著者名・所属施設名、2頁目に和文要旨、索引用語、3頁目から本文、文献、図表（和文）の順に記述する。
- 3) 臨床経験は、臨床研究を簡便に発表する事を目的とする。
- 4) 研究速報は速やかに掲載することを目的としたもので、様式は原著に準ずるが、要旨は不要である。
- 5) Letter to editor は、掲載された論文に対する意見ならびにその他の意見欄で、編集委員会で掲載の可否を決定する。

**☆原稿の書き方**

- 1) 原稿は、ワードプロセッサを用いてA4判用紙に横書きで、40字×30行で印刷する。
- 2) 現代かな遣いに従い、医学用語を除き常用漢字を用いる。

- 3) 度量衡は CGS 単位に限る。
- 4) 統計処理を行った時は、統計学的検定法を明記する。
- 5) 外国人名などの欧文文字は原語を用い、固有名詞、ドイツ語名詞の頭文字は大文字とする。
- 6) 薬品名は、原則として日本語の一般名を用いる。商品名を用いる場合は、一般名の後の括弧内に記入する。
- 7) しばしば繰り返される語は略語を用いてよいが、初出の時は完全な用語を用い、以下に略語を使用することを明記する。  
(例) 病院到着時心肺停止 (cardiopulmonary arrest on arrival, 以下 CPAOA と略す)
- 8) 図、表の引用は該当文章の末尾とする。
- 9) 原著の本文は、はじめに、目的、方法、結果、考察、結論の順に記述する。
- 10) 症例・事例報告の本文は、はじめに、症例、考察、(結論)の順に記述する。
- 11) 論文の本文にはかならず頁数を付す。
- 12) 用語は日本救急医学会の用語集を参考とする。
- 13) ランニングタイトルは 20 字以内とする。

**☆和文要旨** 原著、総説、臨床経験、症例・事例報告、調査・報告には 400 字以内の和文要旨をつける。研究速報には不要。原著の要旨は抽象的な記述ではなく、目的、方法、結果、結論の順で具体的な数字、内容を簡明にまとめる。

**☆索引用語** 原則として日本語とし、原著、総説、調査・報告は 5 個以内、臨床経験、症例・事例報告および研究速報は 3 個以内とする。索引から目的の論文を確実に検索できるようなものとする。  
(例) 気管挿管、急性心筋梗塞、神経ガス、救急救命士

**☆字数制限**

- 1) 原著、総説、調査・報告は題名・著者名・所属施設名、要旨、本文、文献と図表を含めて 16,000 字以内とする。字数換算は題名・著者名・所属施設名の和英で 400 字相当、和文要旨が 400 字とする。図表は縦 5 cm × 横 7 cm に縮小印刷が可能なもの 1 点を 400 字相当と換算する。
- 2) 臨床経験は、題名・著者名・所属施設名、要旨、本文、文献と図表を含めて 12,000 字以内とする。字数換算は 1) に同じ。
- 3) 症例・事例報告は、題名・著者名・所属施設名、要旨、本文、文献と図表を含めて 8,000 字以内とする。字数換算は 1) に同じ。
- 4) 研究速報は題名・著者名・所属施設名、本文、文献と図表を含めて 2,000 字以内とする。字数換算は題名・著者名・所属施設名の和英で 400 字相当とし、他は 1) と同じ。
- 5) Letter to editor は投稿者名、所属、本文、文献と図表を含めて 2,000 字以内とする。掲載された論文に対する意見である場合には、対象論文名 (掲載年; 巻: 頁-頁) を記載する。字数換算は投稿者名・所属・対象論文名で 400 字相当とし、他は 1) と同じ。

**☆文献**

- 1) 文献は本文中に上肩付した引用番号順に配列し、原著と調査・報告は 20 編以内、総説は 40 編以内、臨床経験は 15 編以内、症例・事例報告は 10 編以内、研究速報、Letter to editor は 3 編以内とする。
- 2) 著者は 3 名までは明記し、それ以上は「他」または「et al」とする。
- 3) 雑誌名略記は医学中央雑誌刊行会・医学中央雑誌収載誌目録略名表および Index Medicus に準ずる。
- 4) 文献が雑誌の場合は、その最初のページ、または要旨を含むページのコピーを同封する。そのコピーには引用番号を付する。
- 5) 文献の記載順序  
イ. 雑誌: 引用番号) 著者名: 題名、略誌名 発刊西暦年号; 巻: 頁-頁.

- 1) 桑原義之, 片岡誠, 正岡昭, 他: 門脈ガス血症を伴った急性上腸間膜動脈閉塞症の1救命例. 日消外会誌 1992; 25: 3007-11.
  - 2) 木村浩: 救命講習における動機づけの有用性. プレホスピタル・ケア 1996; 9: 51-6.
  - 3) Bone RC, Sprung CL, Sibbald WJ, et al: Definitions for sepsis and organ failure. Crit Care Med 1992; 20: 724-6.
- ロ. 単行本 a: 引用番号) 著者名: 書名. (巻). (版). 発行所, 発行地, 西暦年号, p 頁—頁. ( ) 内は必要があるときのみ記載
- 4) 蜂屋順一, 平敷淳子: 腹部超音波診断テスト. 文光堂, 東京, 1980, p 1-7.
  - 5) 佐藤禮子: 看護過程における計画立案 (看護 MOOK・8). 金原出版, 東京, 1989, p 110-8.
- 単行本 b: 引用番号) 著者名: 分担執筆項目題名. 編者名. 書名. (巻). (版). 発行所, 発行地, 西暦年号, p 頁—頁. ( ) 内は必要があるときのみ記載
- 6) 中村紀夫: テント下の解剖. 中村紀夫編. 頭部外傷. 文光堂, 東京, 1986, p 495-500.
  - 7) Falk JL, Rackow EC, Weil MH: Colloid and Crystalloid fluid resuscitation. In: Shoemaker WC, Ayres SA, Grenvik A, et al eds. Textbook of Critical Care. Saunders, Philadelphia, 1989, p1055-73.

☆**図 (写真), 表**

- 1) 図, 表は 1 点を字数換算で 400 字相当とする。
- 2) 図, 表の内容, 説明文はすべて日本語とする。
- 3) 図の大きさは原則として A4 判におさまるものとし, 黒色で明確に描く。  
図, 表は A4 判用紙 1 枚に 1 点とし, 図表の番号, タイトル, 説明文を付す。  
写真の場合はキャビネ判とし, トリミングし, そのまま印刷可能な明確なものとする。  
そして A4 判用紙 1 枚に 1 点を張り付け, 図表の番号, タイトル, 説明文を付す。

☆**校正** 掲載直前の最終校正は著者校正とするが, その際, 大幅な追加, 削除は認めない。

☆**特別料金**

- 1) 規定字数までは無料とし, 超過した場合は刷り上がり 1 頁につき 10,000 円を著者負担とする。
- 2) 別刷は 30 部までは無料とし, 追加した分は実費を支払う。追加分の注文は著者校正時に行う。
- 3) トレーシングを必要とする場合および特別の印刷技術を要する場合 (カラーを含む) の実費は著者負担とする。

☆**原稿の送付と返却**

投稿論文は正 1 部のほかにコピー 4 部 (X 線, エコー, 病理組織などの写真は計 5 部ともオリジナルとする) とし, 受付通知用官製はがき (宛先, 論文題名を記載のもの) を添え, 連絡先を明記して下記宛書留郵便で送付すること。採用された論文は原則として返却しない。掲載済の原稿は返却しない。ただし, 写真やデータを入れたメディアなどの返却を希望するときは投稿時に郵送料 (切手で代用) を添えて申し出ること。

〒 164-0001 東京都中野区中野 2-2-3

へるす出版編集部内

日本臨床救急医学会編集委員会

TEL 03-5342-4327 FAX 03-5342-4326

☆論文の著作権 本誌に掲載された著作物の著作権は、著者と日本臨床救急医学会の両者が保持するものとする。著作権に関する詳細は、編集委員会に問い合わせる。

☆倫理規定 投稿論文のなかで、臨床に関わるものにおいては、傷病者や被験者ならびに特定の個人の人権を損なうことのないよう、十分配慮されたものでなければならない。個人が特定される年月日などの記載は臨床経過を知るうえでの必要最小限にとどめ、プライバシー保護に留意すること。また実験動物に関わるものにおいては、動物愛護の面に十分配慮されたものでなければならない。必要に応じてその旨を記載する。

☆規定の改正 投稿規定は改正することがある。

☆付 表

論文	原稿枚数など				
	制限字数 (図表等すべてを含む)	要 旨	索引用語 (和文)	文献数	題名・所属・ 著者名の英文
原著	16,000 字以内	和文 400 字以内	5 個以内	20 編以内	} 必 要
総説	16,000 字以内	和文 400 字以内	5 個以内	40 編以内	
調査・報告	16,000 字以内	和文 400 字以内	5 個以内	20 編以内	
臨床経験	12,000 字以内	和文 400 字以内	3 個以内	15 編以内	
症例・事例報告	8,000 字以内	和文 400 字以内	3 個以内	10 編以内	
研究速報	2,000 字以内	——	3 個以内	3 編以内	} 不 要
Letter to editor	2,000 字以内	——	——	3 編以内	

『日本臨床救急医学会雑誌』編集委員会

編集委員長 黒川 顕  
 編集委員 池田 寿昭, 石松 伸一, 大友 康裕, 小倉 真治, 木下 順弘,  
 久志本成樹, 近藤 晃, 鈴川 正之, 高橋 毅, 田中 裕,  
 永井 秀明, 長尾 建, 林 宗貴, 松月みどり, 松本 幸枝,  
 山勢 博彰, 若林 和則

日本臨床救急医学会雑誌  
編集委員会 御中

年 月 日

### 【誓約書】

下記投稿論文は、1. その内容が他誌に掲載されたり、あるいは投稿していないことを誓約致します。  
2. 他誌（ ）との同時掲載なので、資料として掲載して下さい。  
3. 外国紙（ ）に掲載したものの余剰出版（重複出版）なので、  
資料として掲載して下さい。

(1～3のいずれかを○で囲んで下さい)

論 文 名 : [原著 総説 臨床経験 症例・事例報告 研究速報 調査・報告 Letter to editor 資料]  
(○で囲んで下さい)

著 者 (著者全員, 署名・捺印のこと):

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. _____ (印) | 6. _____ (印)  |
| 2. _____ (印) | 7. _____ (印)  |
| 3. _____ (印) | 8. _____ (印)  |
| 4. _____ (印) | 9. _____ (印)  |
| 5. _____ (印) | 10. _____ (印) |

筆頭著者の所属施設名:

\_\_\_\_\_